

(資料1)

平成24年度 磐田市立神明中学校 学校評価書

重点	目標・取組	評価指標	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
さわやかに「あいさつ」をする。	さわやかなあいさつ、返事ができる。 生活委員会を中心とした「あいさつ運動」の実施。	あいさつがしっかりできているか。	A	○生徒会、保護者をまじえた「あいさつ運動」、教師が昇降口や学級で出迎えるなどの活動を継続的に行ってきた。その結果、学校におけるあいさつが定着してきている。 ○地域の人々へのあいさつも昨年度より良いとの評価を受けた。 ※廊下ですれ違う時の会釈も指導していきたい。	○校内外であいさつができる生徒が多い。 ○登校途中に出会う生徒のあいさつができている。 ○地域の奉仕的活動や文化祭等の様子から、素直ないい生徒が多い。 ※男子の挨拶の声が小さい生徒がおり、気になる。
		「地域の人にあいさつ」をしているか。	A		
目標に向かって、さわやかに「挑戦」をする。	授業に集中し、自主学習に挑戦する。 行事・部活動・検定試験等一歩上を目指した挑戦をする。	授業の内容がわかっているか。	A	○校内研修を中心とし、学力・表現力を高めるための指導を行うことができた。 ○行事では、意識して挑戦する姿が見られた。授業でも、その力がつくと良い。 ※各種検定試験・コンクール等の情報をさらに、生徒へ紹介及び提供していきたい。	○“落ち着き”を感じる。全学年、学級とも落ち着いて授業ができている。 ○授業に集中し、静かに真剣にうけていた。 ※年々おとなしくなっている。 もっと覇気がほしい。 ※運動部活をもっと活発にしているかどうか？
		家庭学習の習慣を大切にし、宿題などの学習に取り組めたか。	B		
		部活動や各種検定（英検・漢検など）・コンクールに積極的に挑戦できたか。	B		
進んで、さわやかに「ボランティア」をする。	奉仕的活動、福祉活動、心もきれいな学校をつくる。	奉仕的活動、福祉活動等に進んで取り組めたか。	B	○学校新聞にボランティアの紹介や情報を掲載し、参加を呼びかけた。そのため、地域のボランティア活動への参加する生徒が多く見られた。 ※環境委員会を中心に清掃中の黙働を徹底させたい。	○体験的活動は、思春期の中学生にとって良い経験だと思えます。アクティブタイム等、さらに従事して欲しい。 ○社会福祉協議会の福祉教育講座をもっと利用してください。
		福祉活動など通じて、思いやる心などの育成ができたか。	A		

学校関係者評価を受けてのまとめ

学校の重点目標に対する評価では、ほぼ満足のいく評価を得ることができた。生徒の「あいさつ」や「地域での様子」では、昨年度と同様良い評価が得られた。今後も、地域の活動に積極的に参加させたい。「学校の様子」では、授業に集中し、真面目に取り組んでいるが、おとなしく覇気がないとの指摘も頂いた。校内研修においても推進している「自らの考えを伝え・高め合う生徒の育成」を目指していきたい。また、奉仕的活動や福祉活動を通して、友達との協調や他人を思いやる心、感動する心など豊かな人間性を育てていきたい。

学校関係者評価委員からは、「多様な生徒に対して指導することは大変なことである。先生方の苦勞もわかる。今後も外国人や学力の低位な生徒への取り出し授業など継続して行い、神明中学校の特色を生かした教育を行って欲しい。」などの意見を頂いた。